

(1)校訓『自学 自律 自励』

- ・自学:自ら進んで学ぶ…自学を心がけよう
- ・自律:自らを律する…自分の生活を反省し、改善する力を身につけよう
- ・自励:自分で自分を励ますところ…困難に立ち向かう勇気を持とう

(2)学校教育目標

Change Chance Challenge ～変化に対応し、機会をとらえ、挑戦する生徒の育成～

(3)経営の方針 「教職員のやりがい・幸福度アップ」 = **子どもの笑顔**

- 和衷協同 「心をつ一つにして協力し合い、子どもたちと関わる教職員集団」
- 率先垂範 「子どもたちに、自ら進んで行動を示せる教職員集団」
- 感動共有 「子どもたちと共に活動し、感動を共有できる教職員集団」

【めざす教師像】

(4)経営の重点 「かかわる」ことを柱とした学校づくりをめざす

- 自己存在感の感受「互いに認め合い、自己存在感を実感させ、自己肯定感や自己有用感を育成する」(自励)
- 共感的な人間関係の育成「自他ともに思いやりの心をもって、共に創造できる学年・学級づくりをする」(自励)
- 自己決定の場の提供「自ら考え、選択し、意見を述べ、決定する場をつくる」(自学)
- 安全・安心な風土の醸成「自らを律し、個性を認め合い、全ての生徒が安心して学校生活を送れるようにする」(自律)

【本年度の努力目標】

(1)変化を見逃さず、「対話」を重視した寄り添う指導に努める。

- 生徒理解に基づく生徒指導(生徒を常にわかろうとする姿勢で関わり続ける)
 - ①すべての教師が「温かさ」と「厳しさ」のもとに、すべての生徒を指導する。
 - ②生徒指導 体制・相談体制を機能化し、迅速な情報の共有と対応を図る。
 - ③好ましい言語環境づくりに努める。

(2)機会をとらえることができる「学びの魅力」がある授業づくりに努める。

- 自ら学ぶ力と基礎学力の向上を図る学習指導
 - ①学習環境を整えると共に、授業規律の確立を図る。
 - ②学習習慣を身に付けさせるために、予習、復習等家庭学習の定着を図る。
 - ③生徒が「自ら学び、考える」よう学習課題を明確にし、「わかる・できる喜び」を味わえるような授業を展開できるように、学習内容や方法を工夫する。

(3)子どもが「考動」し、挑戦できる特別活動の充実に努める。

- 体験的活動を重視した特別活動
 - ①ボランティア活動を積極的に推進する。
 - ②一人一人の良さや持味を生かした行事の創造に努める。
 - ③自主的実践態度や協調的態度を育て、人間としてのより良い生き方を考えさせる。

(4)開かれた学校、家庭・地域社会との連携

- 学校・地域の信頼を深めるよう、連携した活動の機会を大切にしていく。
 - ①積極的な教育情報の発信及び交換に努める。
 - ②**地域コーディネーターの積極的・効果的活用**に努める。(コミュニティ・スクールの充実)

(5)研究・研修

- めざす教師像を求めて、研修会への積極的な参加、授業研究を核とした校内研修の充実に努める。
- 子ども、保護者、地域から信頼される教師をめざして、責任感のある行動、風通しの良い職場環境の構築を図る。
→**モラルアップ委員会の機能的・効果的な運用**に努める。
- 不祥事根絶への高い意識の持続を図る。(情報管理、体罰・セクハラ 等)

(6)働き方改革

- 時間の効果的活用(タイムパフォーマンス向上)を管理する。 → **残業申請書の提出推進**
- ワークライフバランスを調整する。 → **HappyDay の設定(ホワイトボードの活用)促進**
- 不易と流行(取捨選択)を意識した教育活動を考慮する。 → **地域交流の充実**